

2. 事業の目的と概要	
(1). 上位目標	<p>人々が生きて行くために当然にあるべき権利である「健康」が失われつつある無医村に於いて、蔓延するエイズやマラリア、乳幼児、5歳未満児及び妊産婦死亡率、その他の風土病や性病、多くの感染症の減少と公衆衛生知識、病気予防知識の普及を行い、人々の健康な生活を目指すことを目標とする。</p>
(2). 事業の必要性 (背景)	<p>サハラ砂漠が国土の2/3を占めるマリ共和国の農村の人々は、年間降雨量の減少や土地の劣化に伴う農業生産高の減少で収入は少く、食料不足や過剰労働に悩まされ、貧困状況から脱出できないままである。この状態は、人々に風土病の慢性化や感染症の罹患数、乳幼児死亡、下痢の状況を減少させないままである。このような状況に住む人たちの健康を護り、その為のより良い医療体制は、村の人が助産師や看護師になりその村に建設された診療所や産院で働くことがベストである。更に診療所や産院は、村人によって運営管理されることが将来へ向けて持続可能な結果を生み、発展性も強いと考える。</p> <p>これに適した医療システムがCSCOM（セスコム ※添付資料参照）システムである。本事業はこのシステムを採用する診療所の建設である。</p> <p>上記のような考えの下に立案された本事業の対象村であるスウバ村は、人口約10,060人の大型の村で、クリコロコムの7カ村（総人口20,306人）に含まれる。</p> <p>スウバ村は、首都バマコ市から約53kmで遠距離とは言えないが、公的医療サービスが全くない村である。スウバ村及び近郊の村々は、国を縦断しているニジェール川の北岸に位置し、十分な飲料水に恵まれていないため人々は川の水も生活用水として使っている。現在のスウバ村では次のような事項が認められる。</p> <p>①村の中が非常に不潔でゴミが散乱し、常に汚水が居住地域に溜まり、そこからハマダラ蚊の発生によりマラリア罹患率は90%以上で多くの人は慢性化している。マラリアについての予防は薬剤塗布蚊帳の普及も非常に低く、薬剤による予防も行われていない。住民へ基本的な公衆衛生知識の普及が欠如している。</p> <p>②エイズ感染者が増加している。これは、十分な知識も予防教育も無いままに年々増加する出稼者（若者の大部分）が帰郷時に持ち込む例が多いといわれている。</p> <p>③産院がなく、助産師もいないので国で決めている妊産婦の出産前・後検診も実施されていない。その為に受胎や妊娠、家族計画等の基礎知識が普及されていない。保育に関する知識の欠如、出産時は、正しい知識を知らない伝統的産婆の介助のため異常出血や産後の感染が多く出産予後が悪く女性の死亡率が高い。</p> <p>④乳幼児を含め5歳児未満の死亡率も高い。これは③に原因している。</p> <p>⑤子供の予防接種の説明が不十分の為に接種率が2割程度でとても低い。</p> <p>⑥その他の感染症（下痢・赤痢・肝炎）、風土病のシストゾンビアース（泌尿器の疾病）、オンコセルコース（リバー・ブラインドネス）の罹患率が高く皮膚病も多い。</p> <p>上記のような状況とはいえ、この地域の医療サービスはコムの中心である23km東方の行政機関があるクリコロ町に国立病院とセスコムシステムの診療</p>

	<p>所が各1カ所あるが、スウバ地域の一般住民は遠路であり、往復の交通費や診療費が高額で診療を受けることが出来ない。</p> <p>身近な場所に地域の人々が運営・管理をすることが可能で、容易に治療に行くことが出来、緊急な場合も有効である診療所の存在が望まれ、地域住民が会議を開きスウバ村と周辺の村の人々が協力して資金を蓄え、2008年にスウバ村人から2人(女性、男性各一人)を選び出し、バマコ市の診療所に送り助産師と看護師の育成を始めた。彼ら2人の1年間の研修終了後から、現在まで同診療所(バマコ市の)で経験を重ねている。</p> <p>しかし、助産師と看護師の育成はしたが、診療所と産院の建設費用が高額の為に未だ診療所と産院は建設されていない。その様な理由で、2008年から当会に診療所(産院含む)建設の要請があり今回の申請事業となった。</p> <p>開設されるスウバ村診療所が医療行為を行なうだけでなく、今までは村の100%に近い人々が認識していなかった、日常生活に必要な公衆衛生・病気全般にわたる予防知識を普及し、種々な疾患への罹患率と、死亡率を低下させ、健康な生活を送れるように村人の為に努力しようとしている姿に対し、当会カラは、その手助けとして、一般診療科と産院併用型の診療所を建設し、ソフト面でも出来る限りの協力・支援を行うこととしている。(別紙A 参照)</p> <p>添付資料 1:事業対象地域地図。 2:現在のスウバ村の光景。 3:セスコムについて。 4:スウバ村診療所に関する設計図、配置図、路面図。 5:各機関からのスウバ村診療所についての許可書の説明。</p>
(3). 事業内容	<p>①住民による管理・運営可能な診療所(一般診療科部門と産院の合体型)の建設。</p> <p>②診療所業務に関する啓発教育の実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スウバ村診療所スタッフ(看護師、助産師)が人々へ病気予防と公衆衛生知識の啓発学習を行なうシステムを作る。 ・スウバ村診療所スタッフは乳幼児、妊産婦への予防接種の徹底普及。 ・診療所自主管理委員会が診療所運営・管理のモニタリングを出来るよう当会が指導し、彼らが毎月実施するよう指導する。(別紙B 参照)
(4). 持続発展性	<p>持続発展性が可能である理由。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1:スウバ村では、住民たちに疾患が多いことを考えて助産師と看護師を育成した。これは医療体制を整えたいという村人の積極性を伺えることが出来る。 2:診療所自主管理委員会が既に立ちあがり持続的な運営資金を蓄えているため、診療所開設後も運営と維持について積極的に十分な配慮がなされる。 3:この診療所はセスコム方式を採用するために、診療費は住民に支払い可能な額であり、公立病院や個人開業医と異なり割安であるから受診しやすい。 <p>この診療所(セスコム方式)で受診を希望する家族は、一家族年間1,000cfa(日本円約200円)で会員となることで、通常よりも割安で診察、薬剤、出産費用を支払うことが出来る。このシステムは現在マリ共和国内</p>

	<p>の多くの地域で実施され、成果を挙げている。</p> <p>スウバ村は大型の村で人口も多く、生業は商人が主であるので自然を対象とした農業と異なり、会費を出して会員になる人が多い。</p> <p>4：更に、診療費収入がある程度見込まれる。これによって診療所職員へ給料が支払える。また職員は村出身であるから食料は各自で生産可能であるので最低の生活は保障される。これは、職員の離職を防ぐことが出来る理由である。</p> <p>5：バマコ市のCSCOM（セスコム）方式を採用している診療所の医師が、スウバ村出身であり助産師と看護師の指導医師でもあり、随時彼の指導を直接受けることが出来る。</p> <p>6：助産師と看護師は村との契約で育成されたので、村から移り住むことは基本的に不可能であるため、常に診療所で働くようになる。</p>
<p>(5). 期待される成果と成果を図る指標</p>	<p><u>期待される効果</u></p> <p>① 居住地域に住民の生活に見合った、容易に安価な受診と薬剤の購入が可能な診療所が開設され、地域に根ざした医療サービスが実現する。この為伝統的祈禱師を頼る人が減少し、住民の多くがこの診療所で受診可能となる。</p> <p>4・5年後には、人々の疾患率は30%減少し死亡率も20%の低下が見込まれる。</p> <p>②風土病のマラリア、シストゾンビアース、オンコセルコースの罹患者は容易に薬剤を手に入れることが出来るようになる。</p> <p>③エイズの正しい知識の啓発により2・3年後までに感染率を70%防ぐ。</p> <p>④乳幼児保育知識の普及で子供の病気の早期発見が可能となり、3・4年後には乳幼児も含めて死亡率が約50%低下する。</p> <p>⑤開設後直ちに、今まで不可能であった妊婦の定期検診（出産前・後）が可能になり、1年後には妊娠時の異常事態を軽減し出産時・出産後の死亡率が50%減少する。健全な母体で安全な出産が可能になる。（妊娠中毒症や異常胎児早期発見に役立つ）</p> <p>⑥感染症（下痢、コレラ、赤痢、皮膚病）の罹患者率は2・3年後に30%低下する。</p> <p>⑦産院を備えた診療所の開設で自宅出産が2・3年後には半減し、緊急時の診察と安全な出産が可能になる。</p> <p>⑧住民の多くは公衆衛生や病気予防の知識を得て村が清潔になりゴミがへる。</p> <p>⑨街道端の村である為に時々起こる交通事故の処置が可能になる。</p> <p>⑩スウバ村住民全体にとって、彼らが参加し継続する診療所であるために、村の宝・財産を持ったという意識と連帯感が村全体に生まれる。</p> <p>⑪村出身の看護師と助産師の誕生は子供たちの将来の職業選択に新しい期待を持たせ、医療従事者を希望する若者が将来は誕生する。</p> <p><u>参考：</u></p> <p>クリコロコミュン内 7カ村の総人口20,306人の内直接裨益者は10,000人が想定され、間接的裨益者は、人口73,500人のクリコロ町からの来院者も含め、4、5年後には、80,000人前後を見込んでいる。</p> <p>内訳</p> <p>①スウバ村約10,060人と、②カヨ村③トンカ村④フェクン村⑤バカリブグ村⑥タンティア村⑦ゴンバラ村の6カ村の人口10,246人を合算し</p>

	て20,306人である。
--	--------------